

【発表項目およびコメント】

将来の自然環境を守る太陽光対策

「九州の水を育む阿蘇の守り手基金」御寄附の状況について

「ONE PIECE 熊本復興プロジェクト」10年展開催決定について

くまもとモン×大阪梅田ジャックについて

将来の自然環境を守る太陽光対策

～①太陽光FIT後パネル等放置ゼロ対策検討会議～

太陽光FIT後パネル等放置ゼロの取組み

現在、事業用太陽光発電はFITに基づき20年間固定価格で買い取り

2032年から順次、買取期間が切れ、買取価格が大幅に低減（40円→7円等）

懸念されるリスク

① 太陽光パネルが撤去されず放置

② 再生可能エネルギーの減少

③ 大規模なパネル等の廃棄

残された買取期間で対策

太陽光FIT後パネル等放置ゼロ対策検討会議

①【貯める】
撤去資金の確保

②【使う】
適地での長期利活用

③【リサイクル】
リサイクル体制の確保

放置ゼロに向けて、必要な対策を検証し、熊本モデルとして整理



災害リスクや景観・自然の観点で問題がある施設に対する対応についても検討

対策検討会議ロードマップ

○第1回検討会議開催（8/28）

- ◎ 検討項目(問題点)の整理 等
- ◎ メガソーラー(協定締結)事業者へのアンケート調査項目を整理
↓
(アンケート調査・集計等)

○第2回検討会議開催

防災センター312会議室 10/31（金）午前10時～

- ◎ アンケート結果も踏まえた実質的な議論
物価高騰の中、既存の積立制度だけで撤去資金が確保できると認識している事業者が約半数いるなど、課題も明らかに ⇒ 対策を検討

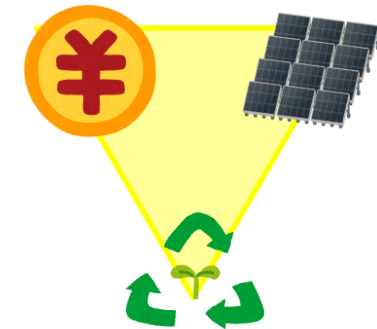
（参考）今後のスケジュール

- 第3回検討会議開催
 - ◎ まとめ、報告書作成
- 対策検討会議から、
結果を踏まえた方針の報告書の提出

（参考）検討会議構成

- ・学識経験者（座長）
- ・発電事業者
- ・市町村
- ・リサイクル業者

計8者



将来の自然環境を守る太陽光対策

～②阿蘇地域のメガソーラー対策～

○令和7年7月 阿蘇世界文化遺産登録推進協議会で
「阿蘇地域太陽光抑制エリア図」を公表

県の太陽光
ゾーニング図
の保全エリア

+

合わせて
表示

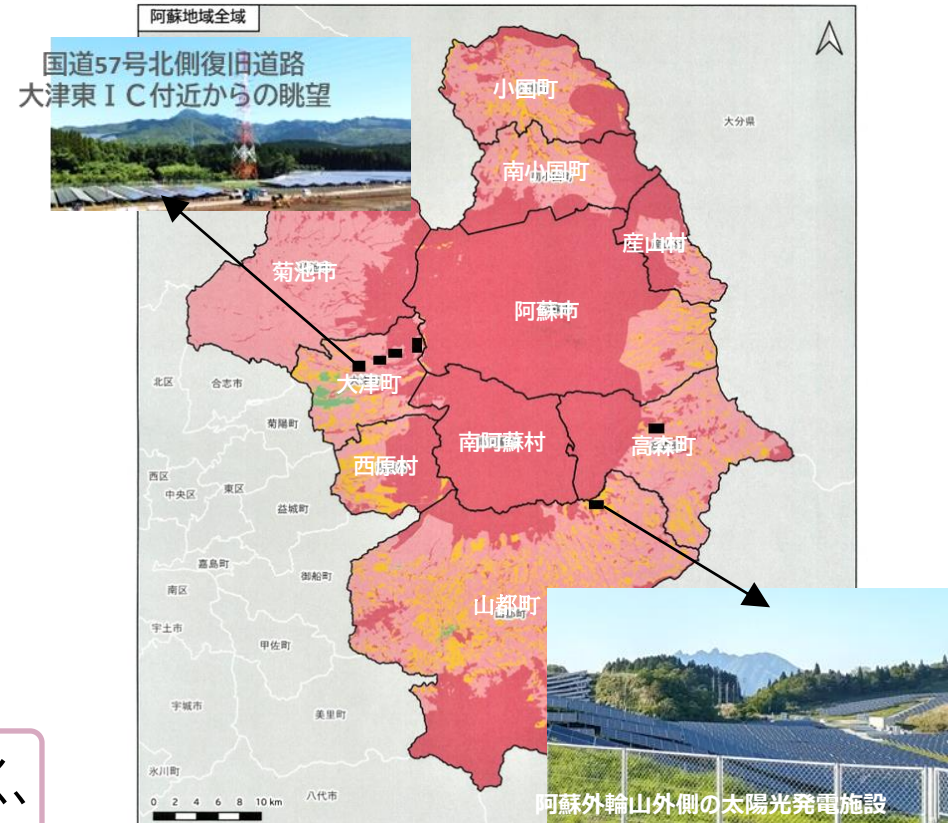
市町村等が
太陽光を抑制
すべきとするエリア

メガソーラーを抑制すべき
エリア全体を見える化

太陽光発電の適地誘導に取り組む

この県独自の取組みを国の制度への反映を要望

国に対し、温対法に基づく、「促進区域」だけでなく、
「抑制区域（仮称）」の創設を要望



外輪山の外も森林などは抑制エリア

★ 再エネの適地誘導により、地球環境と自然環境を未来に残す取組みを推進

「九州の水を育む阿蘇の守り手基金」 御寄附の状況について（令和7年10月24日時点）

- 九州の水がめである阿蘇のグリーンインフラを守るため、新たな基金を設置。
- 令和7年8月1日から寄附の受付を開始。

令和7年8月1日～10月24日にいただいた寄附

総額 2,555,000円（6社、8名）

※大口寄附者（100万円以上）
JA熊本果実連、熊本県遊技業協同組合



「九州の水を育む阿蘇の守り手基金」 御寄附の状況について（令和7年10月24日時点）

集まった寄附金は、牧野組合などが令和8年に行う草原維持活動への支援に充てられます。

令和7年度中 活動団体へ支援金交付式予定
令和8年6月 寄附者へ貢献証書を交付予定

目標額

令和7年12月末までに

3,000万円

更なる御協力をお願いいたします



熊本県HP
→



阿蘇GS
HP
→



<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/49/241676.html>（県HP）

<https://www.asogreenstock.com/sougensaisei/blog/>「九州の水を育む阿蘇の守り手基金」始動/（阿蘇グリーンストックHP）

「九州の水を育む阿蘇の守り手基金」 寄附額に応じた貢献度の検討について

第1回「阿蘇グリーンインフラの貢献度評価指標検討委員会※」を開催

※寄附の貢献度（いかに水源涵養効果につながったか）を検討するもの

日 時：令和7年11月11日（火曜） 15時～17時
場 所：熊本県庁防災センター304（予定）
委 員：嶋田純氏（熊本大学名誉教授）、
高橋佳孝氏（阿蘇草原再生協議会長）、その他有識者
内 容：阿蘇地域のグリーンインフラの機能を評価する指標の
設定について

※委員会の開催案内（報道投込み）は、後日、行う予定。

「ONE PIECE 熊本復興プロジェクト」 10年展 開催決定！

【期 間】

令和8年（2026年）3月20日（金）

【場 所】

～5月24日（日）

熊本県立美術館 本館1階



©尾田栄一郎／集英社

- ✓ 「ONE PIECE熊本復興プロジェクト」は、「麦わらの一味」の銅像の設置をはじめ、
様々な企画を通じ、熊本地震からの創造的復興を後押ししてきた。
- ✓ 来年は熊本地震から、そしてプロジェクトの開始から
10年の節目を迎えることから、10年展を開催する。

コンセプト

~~SHI - RU - SHI~~

仲間の印、プロジェクトの記、復興の印、未来の道標



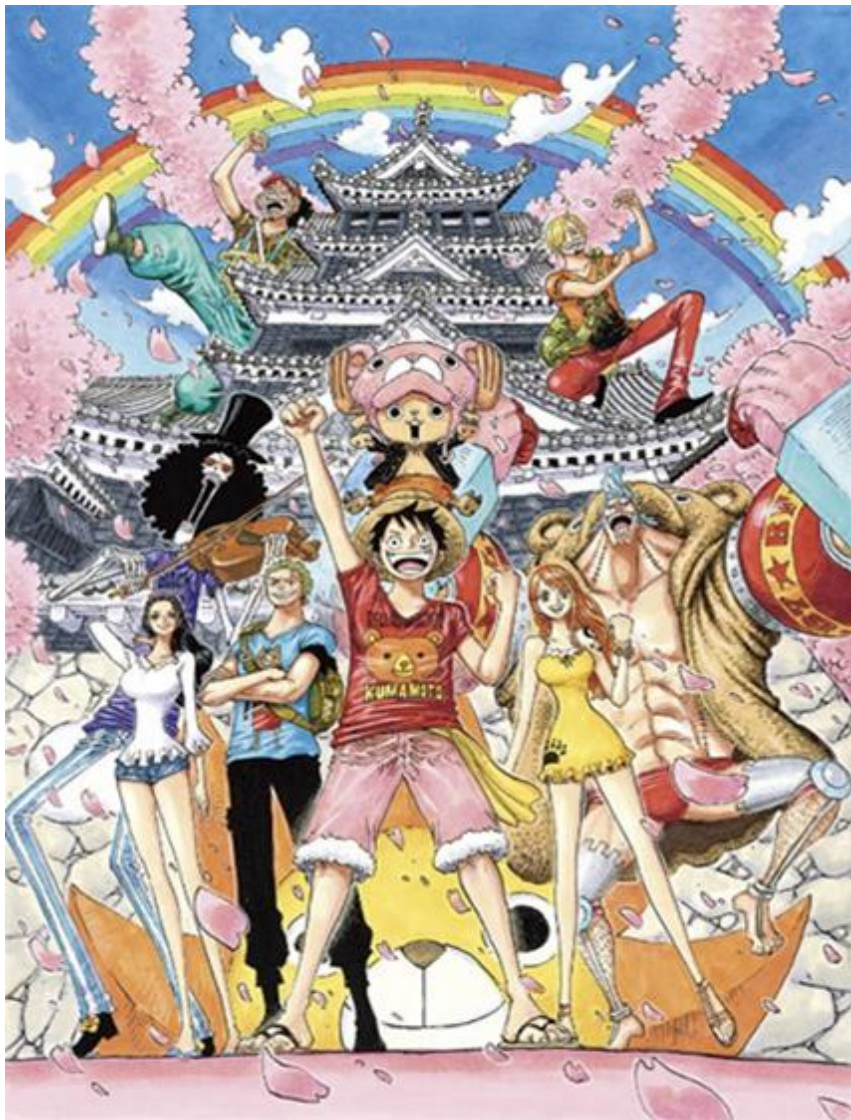
展示内容



※イメージ

- ✓ 銅像の制作過程など、
ここでしか見られない展示
- ✓ 「ONE PIECE」の名場面が
復興のシーンと溶け合う
特別なイメージシアター

漫画「ONE PIECE」の世界を通し
10年の復興の軌跡を
見て、知って、体感する！



コンテンツの力によって災害からの
創造的復興を後押しするというプロジェクト

- ✓ 復興の軌跡を後世に残す
- ✓ 力強く復興に向けて歩み、
活気づく熊本の姿を
感謝とともに発信

企画展の詳細や連動企画について随
時告知予定！

「くまもとモン×大阪梅田ジャック」について

熊本の魅力が詰まった県産品を「くまもとモン」と称し、
大都市圏の百貨店や飲食店とマッチングを図り、販路拡大や
情報発信をめざす「食」の祭典

主催：熊本県、株式会社くまもとDMC

期間：令和7年（2025年）

11月1日（土）～30日（日）

**大阪梅田の8つの施設が一体となり
熊本が誇る食や酒などの県産品
「くまもとモン」をPR**



4年連続



◆主なイベント

● オープニングイベント

11月1日（土）11:00～

@阪急三番街 北館B2F ステージ

くまもとモン×大阪梅田ジャックの
スタートを記念したセレモニーを開催！

● 飲食店ジャック

8施設、約150店舗で熊本県産食材や
熊本県産酒を使った限定メニューを提供！



※今年度の「くまもとモン×エリアジャック」は、今月の福岡天神を皮切りに、今回の大阪梅田、来年1月の東京銀座と、計3エリアで実施。